

2020年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月9日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <https://www.ams-life.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 土屋昭弘

TEL 054-281-5238

定時株主総会開催予定日 2020年11月25日 配当支払開始予定日 2020年11月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年11月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期の連結業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	15,819	2.7	1,093	11.5	1,099	8.4	676	13.6
2019年8月期	16,252	2.9	981	4.1	1,014	3.3	783	6.3

(注) 包括利益 2020年8月期 705百万円 (4.4%) 2019年8月期 738百万円 (2.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年8月期	48.12		6.6	6.0	6.9
2019年8月期	55.70		7.9	5.6	6.0

(参考) 持分法投資損益 2020年8月期 百万円 2019年8月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期	18,548	10,463	56.4	744.04
2019年8月期	18,327	10,109	55.2	718.86

(参考) 自己資本 2020年8月期 10,463百万円 2019年8月期 10,109百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年8月期	1,299	458	574	4,170
2019年8月期	1,131	202	546	3,902

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年8月期		10.00		15.00	25.00	351	44.9	3.6
2020年8月期		10.00		10.00	20.00	281	41.6	2.7
2021年8月期(予想)		10.00		10.00	20.00			

2019年8月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	1.4	570	0.8	570	0.4	370	4.9	26.30
通期	16,000	1.1	1,100	0.6	1,100	0.0	720	6.4	51.19

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期	14,144,720 株	2019年8月期	14,144,720 株
期末自己株式数	2020年8月期	81,012 株	2019年8月期	80,969 株
期中平均株式数	2020年8月期	14,063,727 株	2019年8月期	14,063,751 株

(参考)個別業績の概要

2020年8月期の個別業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	13,095	2.1	869	3.4	850	1.3	548	5.3
2019年8月期	13,377	5.6	899	3.0	839	1.6	579	7.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期	39.03	
2019年8月期	41.20	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年8月期	15,305		9,274		60.6		659.44	
2019年8月期	15,334		9,063		59.1		644.45	

(参考) 自己資本 2020年8月期 9,274百万円 2019年8月期 9,063百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料]P5(今後の見通し)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、当初、企業収益が高水準を維持し、雇用・所得環境に改善がみられるなど緩やかな回復基調にありました。しかし、本年1月以降、新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大し、国内外の経済活動は停滞が続き、景気は急速に悪化しました。

当社グループが属する健康食品市場は、新型コロナウイルスの感染拡大後、小売・卸売販売チャネルにおいては、インバウンド需要の減少や外出自粛ムードにより低迷しており、通信販売チャネルにおいては、巣ごもり消費ニーズの高まりにより利用の増加がみられました。

このような状況の下当社グループでは、美容商材の受注が好調に推移した海外部門の売上高が前期の1.5倍となったほか、通信販売部門や医薬品事業が増収となったものの、OEM部門や店舗販売部門が減収となり、当期の連結売上高は15,819百万円（前期比2.7%減）となりました。損益面については、前期に会計の見積りを変更し当社において計上した退職給付費用の積み増し分が当期は無くなったことや、広告宣伝費などの節減効果により、営業利益は1,093百万円（前期比11.5%増）、経常利益は1,099百万円（前期比8.4%増）となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産売却益が減少したほか、貸倒損失や投資有価証券評価損などを特別損失に計上した影響により、676百万円（前期比13.6%減）となりました。

事業別の状況

事業別の業績を示すと、次のとおりであります。

セグメント	事業部門	2020年8月期	
		売上高（百万円）	対前期増減比（%）
ヘルスケア事業	OEM部門	8,771	△8.6
	海外部門	1,816	51.6
	通信販売部門	1,464	6.3
	卸販売部門	591	△28.7
	店舗販売部門	1,731	△7.4
	その他	115	7.7
	計	14,490	△3.2
医薬品事業	—	1,328	4.0
合計	—	15,819	△2.7

①ヘルスケア事業

・OEM部門

当社グループの基幹事業である当部門は、上半期はドラッグストア向けの定番商材が堅調に推移し、下半期は免疫に対する関心の高まりにより、プロポリスや乳酸菌、ビタミンなどの免疫賦活商材が好調な売れ行きとなりました。一方、出展予定の展示会の中止や出張自粛などにより新規開拓が苦戦したほか、前期に好調であったダイエット訴求の乳酸菌・酵母関連商品の受注が減少したことなどにより、当部門の売上高は前期を下回りました。

機能性表示食品においては、当社が届出支援も行い、当期66品目増加し、累計148品目が受理されております。生産面については、作業効率の向上を図るため、各所の機械化を検討しております。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、新規顧客の開拓に注力し、フィリピン・ロシア・タイの各1社と新たに取引を開始いたしました。ロックダウン等により店舗ビジネスを営む顧客において低調となったものの、インドネシアの顧客において美容商材が大きく伸長したことにより、当部門の売上高は前期の1.5倍となりました。

・通信販売部門

機能性表示食品については、当期に7品目を新発売し、ラインアップを計10品目に拡充いたしました。新規顧客獲得に向け、積極的にテレビや新聞等へ健康食品・化粧品の広告出稿を行うとともに、新規顧客へのフォローを強化し、リピート率の向上に努めました。中でも定番人気商品の“爽快柑シリーズ”においては、前期比67%増と好調な売れ行きとなりました。その結果、巣ごもり消費による受注増も加わり、当部門の売上高は前期を上回りました。

・卸販売部門

主力商品『華舞の食べるコラーゲン』は固定客により安定した売上となったものの、出展を強化していた展示会や販売会の中止が相次いだほか、小売店や海外販売を行う国内事業者からの受注が停滞したことにより、当部門の売上高は前期を下回りました。

・店舗販売部門

昨年9月に人気商品『ラ・ヴィ・ブラセンタ』のパッケージをリニューアルし、販売を強化したことにより、同商品は前期比33%増と好調な売れ行きとなりました。しかし、店舗数の減少による減収に加え、緊急事態宣言を受け2カ月の店舗休業、営業時間短縮、百貨店催事の中止などにより、当部門の売上高は前期を下回りました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高14,490百万円（前期比3.2%減）、営業利益1,671百万円（前期比10.1%増）（全社費用調整前）となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品につきましては、ジェネリック医薬品である『タダラフィル錠』（勃起改善薬）を本年4月末に上市し、売上・利益に寄与しました。また、重点販売商品として位置付けている自社製造医療用ジェネリック医薬品『ピムロ顆粒』（下剤）をはじめ、『フィナステリド錠』（AGA治療薬）、『シルデナフィル錠』（勃起改善薬）が順調に売上を伸ばしました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が1,328百万円（前期比4.0%増）、営業利益24百万円（全社費用調整前）（前期は43百万円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 流動資産

当連結会計年度末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ379百万円増加し、10,009百万円となりました。この増加要因は主として、現金及び預金が288百万円、仕掛品118百万円増加したことによるものであります。

② 固定資産

当連結会計年度末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ157百万円減少し、8,539百万円となりました。この減少要因は主として、投資有価証券が36百万円増加した反面、償却などにより、有形固定資産全体で197百万円減少したことによるものであります。

③ 流動負債

当連結会計年度末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ691百万円減少し、6,204百万円となりました。この減少要因は主として、支払手形及び買掛金が195百万円増加した反面、返済期限が到来した1年以内返済予定の長期借入金の借り換えなどにより、1年内返済予定の長期借入金が727百万円減少したことに加え、流動負債のその他が113百万円減少したことによるものであります。

④ 固定負債

当連結会計年度末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ559百万円増加し、1,880百万円となりました。この増加要因は主として、返済期限が到来した1年以内返済予定の長期借入金の借り換えにより、長期借入金が596百万円増加したことによるものであります。

⑤ 純資産

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ354百万円増加し10,463百万円となりました。この増加要因は主として、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が325百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ268百万円増加し、当連結会計年度末は4,170百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は1,299百万円（前期比167百万円の収入増）となりました。

これは主として、法人税等の支払額381百万円、たな卸資産の増加額171百万円、未払消費税等の減少額126百万円などにより資金が減少した反面、税金等調整前当期純利益1,004百万円、減価償却費508百万円、仕入債務の増加額195百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は458百万円（前期比256百万円の支出増）となりました。

これは主として、投資有価証券の売却による収入100百万円などにより資金が増加した反面、有形及び無形固定資産の取得による支出381百万円、投資有価証券の取得による支出157百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は574百万円（前期比28百万円の支出増）となりました。

これは主として、長期借入による収入700百万円などにより資金が増加した反面、長期借入金の返済による支出830百万円、配当金の支払額350百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、未だ新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っておらず、段階的に国内の経済活動が再開されているものの、元の水準に戻るまでには年単位の時間を要すると思われ、厳しい状況が続くことが見込まれます。

このような状況のもと当社グループは、主軸OEM部門において、前期に続き、原料メーカー・販社と連携し、機能性表示食品の届け出サポートを強化し、増産による売上増加を図ってまいります。また、海外部門においては、既存顧客への営業を強化するとともに、新興地域への開拓を進めます。

自社ヘルスケア製品の販売を担う子会社においては、販売促進活動を強化し、新規顧客の獲得及び顧客の囲い込みを図ってまいります。

以上により、2021年8月期通期の連結業績につきましては、売上高は16,000百万円（前期比1.1%増）、営業利益1,100百万円（前期比0.6%増）、経常利益1,100百万円（前期比0.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益720百万円（前期比6.4%増）となる見通しです。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への安定的な利益還元を経営上の重要課題と認識しており、将来の事業展開や経営環境の変化に必要な内部留保を確保しつつ、業績の向上に応じて増配などを行う方針であります。

当事業年度の期末の配当につきましては、安定的な利益還元を重視し、1株につき普通配当10円としております。なお、中間配当金10円と合わせた年間配当は1株につき20円となります。

2021年8月期の配当につきましては、中間・期末とも1株につき普通配当10円とし、年間20円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移や国内外の諸情勢を考慮の上、国際財務報告基準（IFRS）の適用について適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,437,201	4,725,642
受取手形及び売掛金	2,163,999	2,190,325
商品及び製品	1,088,030	1,043,265
仕掛品	819,215	938,108
原材料及び貯蔵品	916,063	1,013,745
その他	236,960	160,728
貸倒引当金	△31,920	△62,627
流動資産合計	9,629,550	10,009,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,373,690	5,383,198
減価償却累計額	△2,519,783	△2,667,857
建物及び構築物(純額)	2,853,907	2,715,340
機械装置及び運搬具	3,199,697	3,343,391
減価償却累計額	△2,295,208	△2,510,136
機械装置及び運搬具(純額)	904,489	833,255
土地	3,895,432	3,895,432
建設仮勘定	83,442	94,370
その他	530,737	557,009
減価償却累計額	△411,617	△436,208
その他(純額)	119,120	120,800
有形固定資産合計	7,856,393	7,659,199
無形固定資産		
のれん	1,020	—
その他	147,596	162,778
無形固定資産合計	148,617	162,778
投資その他の資産		
投資有価証券	559,707	596,124
繰延税金資産	84,391	77,079
その他	69,985	57,633
貸倒引当金	△21,563	△13,115
投資その他の資産合計	692,520	717,721
固定資産合計	8,697,530	8,539,699
資産合計	18,327,080	18,548,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,814,273	2,009,287
短期借入金	2,762,533	2,762,533
1年内返済予定の長期借入金	830,926	103,476
未払法人税等	245,855	196,273
賞与引当金	171,000	170,100
ポイント引当金	19,137	23,743
その他	1,052,474	938,927
流動負債合計	6,896,200	6,204,340
固定負債		
長期借入金	485,802	1,082,326
長期未払金	201,060	138,827
繰延税金負債	18,212	15,214
役員退職慰労引当金	180,858	195,858
退職給付に係る負債	425,693	439,568
負ののれん	1,126	563
その他	8,280	8,280
固定負債合計	1,321,033	1,880,638
負債合計	8,217,233	8,084,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,195,880	2,195,880
利益剰余金	5,913,891	6,238,981
自己株式	△59,284	△59,314
株主資本合計	10,182,327	10,507,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67,431	△59,684
為替換算調整勘定	△5,048	△2,023
退職給付に係る調整累計額	—	18,229
その他の包括利益累計額合計	△72,479	△43,477
純資産合計	10,109,847	10,463,909
負債純資産合計	18,327,080	18,548,888

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	16,252,889	15,819,281
売上原価	11,732,032	11,264,680
売上総利益	4,520,856	4,554,601
販売費及び一般管理費	3,539,585	3,460,922
営業利益	981,271	1,093,679
営業外収益		
受取利息	2,166	3,346
受取配当金	18,574	14,013
投資有価証券売却益	21,576	3,748
受取賃貸料	20,412	20,455
負ののれん償却額	563	563
助成金収入	—	11,708
その他	17,471	9,553
営業外収益合計	80,765	63,389
営業外費用		
支払利息	36,516	32,922
投資有価証券売却損	—	563
製品回収関連費用	—	10,508
その他	10,643	13,245
営業外費用合計	47,159	57,239
経常利益	1,014,876	1,099,829
特別利益		
固定資産売却益	95,846	175
補助金収入	2,737	4,096
特別利益合計	98,584	4,271
特別損失		
固定資産除却損	15,204	9,712
投資有価証券評価損	6,202	35,185
減損損失	1,029	898
賃貸借契約解約損	—	7,227
貸倒損失	—	46,734
特別損失合計	22,436	99,757
税金等調整前当期純利益	1,091,024	1,004,343
法人税、住民税及び事業税	342,224	335,038
法人税等調整額	△34,492	△7,378
法人税等合計	307,732	327,659
当期純利益	783,292	676,683
親会社株主に帰属する当期純利益	783,292	676,683

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
当期純利益	783,292	676,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,108	7,746
為替換算調整勘定	△5,048	3,025
退職給付に係る調整額	—	18,229
その他の包括利益合計	△45,156	29,001
包括利益	738,136	705,685
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	738,136	705,685
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,131,839	2,195,880	5,411,873	△59,284	9,680,309
当期変動額					
剰余金の配当			△281,275		△281,275
親会社株主に帰属する当期純利益			783,292		783,292
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	502,017	—	502,017
当期末残高	2,131,839	2,195,880	5,913,891	△59,284	10,182,327

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△27,322	—	△27,322	9,652,986
当期変動額				
剰余金の配当				△281,275
親会社株主に帰属する当期純利益				783,292
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△40,108	△5,048	△45,156	△45,156
当期変動額合計	△40,108	△5,048	△45,156	456,861
当期末残高	△67,431	△5,048	△72,479	10,109,847

当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,131,839	2,195,880	5,913,891	△59,284	10,182,327
当期変動額					
剰余金の配当			△351,593		△351,593
親会社株主に帰属する当期純利益			676,683		676,683
自己株式の取得				△29	△29
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	325,090	△29	325,060
当期末残高	2,131,839	2,195,880	6,238,981	△59,314	10,507,387

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△67,431	△5,048	—	△72,479	10,109,847
当期変動額					
剰余金の配当					△351,593
親会社株主に帰属する当期純利益					676,683
自己株式の取得					△29
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,746	3,025	18,229	29,001	29,001
当期変動額合計	7,746	3,025	18,229	29,001	354,062
当期末残高	△59,684	△2,023	18,229	△43,477	10,463,909

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,091,024	1,004,343
減価償却費	472,765	508,926
のれん償却額	457	457
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21,372	22,259
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,100	△900
ポイント引当金の増減額(△は減少)	998	4,606
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	126,395	39,866
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,863	14,999
受取利息及び受取配当金	△20,741	△17,359
支払利息	36,516	32,922
固定資産売却損益(△は益)	△95,846	△175
固定資産除却損	15,204	9,712
投資有価証券売却損益(△は益)	△21,576	△3,184
投資有価証券評価損益(△は益)	6,202	35,185
補助金収入	△2,737	△4,096
減損損失	1,029	898
賃貸借契約解約損	—	7,227
貸倒損失	—	46,734
売上債権の増減額(△は増加)	△105,933	△26,326
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,692	△171,809
仕入債務の増減額(△は減少)	△191,187	195,013
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,788	△126,781
その他	38,028	114,858
小計	1,406,286	1,687,377
利息及び配当金の受取額	20,147	17,368
利息の支払額	△34,130	△28,736
補助金の受取額	2,737	4,096
法人税等の支払額	△263,110	△381,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,131,930	1,299,011

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△676,000	△716,000
定期預金の払戻による収入	696,000	696,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△546,787	△381,266
有形及び無形固定資産の売却による収入	291,191	175
投資有価証券の取得による支出	△684,249	△157,481
投資有価証券の売却による収入	709,566	100,741
その他	8,061	△888
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202,217	△458,718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	210,000	—
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△321,048	△830,926
社債の償還による支出	△60,000	—
自己株式の取得による支出	—	△29
配当金の支払額	△280,130	△350,154
その他	△95,701	△93,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	△546,880	△574,936
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,137	3,084
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	377,694	268,440
現金及び現金同等物の期首残高	3,524,507	3,902,201
現金及び現金同等物の期末残高	3,902,201	4,170,642

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは健康食品及び医薬品の製造販売を主とした多岐にわたる事業を営んでおります。当社及び当社の連結子会社には、単一製品の製造に従事する会社だけでなく複数製品の製造販売を営んでいる会社もあり、当社グループとしては取り扱う製品ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは取り扱い製品を基礎として製品別セグメントから構成されており、「ヘルスケア事業」及び「医薬品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ヘルスケア事業」は、健康食品・化粧品の製造販売及びOEM供給を行っております。「医薬品事業」は、漢方医療用医薬品・一般用医薬品の製造販売及びジェネリック医薬品の販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ヘルスケア事業	医薬品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,974,546	1,278,342	16,252,889	—	16,252,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,974,546	1,278,342	16,252,889	—	16,252,889
セグメント利益又は損失(△)	1,517,897	△43,907	1,473,990	△492,718	981,271

(注) 1. セグメント利益の調整額△492,718千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ヘルスケア事業	医薬品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,490,400	1,328,881	15,819,281	—	15,819,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,490,400	1,328,881	15,819,281	—	15,819,281
セグメント利益又は損失(△)	1,671,358	24,567	1,695,926	△602,247	1,093,679

(注) 1. セグメント利益の調整額△602,247千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり純資産額 718円86銭	1株当たり純資産額 744円04銭
1株当たり当期純利益 55円70銭	1株当たり当期純利益 48円12銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	783,292	676,683
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	783,292	676,683
普通株式の期中平均株式数(株)	14,063,751	14,063,727

(重要な後発事象)

該当事項はありません。